

第40週の発生動向(2007/10/1~2007/10/7)

ヘルパンギーナについては、むつ保健所管内において第34週から**警報**が継続しています。

第40週五類感染症定点把握

注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数					
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ															0										
(72) RSウイルス感染症			1	0.11			1	0.20					2	0.05	2										
(73) 咽頭結膜熱	1	0.11							1	0.17	1	0.25	3	0.07	-4										
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.33	21	2.33	1	0.11	8	1.60	6	1.00	13	3.25	52	1.24	27										
(75) 感染性胃腸炎	17	1.89	6	0.67	2	0.22	3	0.60	5	0.83	15	3.75	48	1.14	3	4	4.00	13	1.63						
(76) 水痘	2	0.22							12	2.00	10	2.50	24	0.57	11										
(77) 手足口病	10	1.11	11	1.22	13	1.44	6	1.20	9	1.50	4	1.00	53	1.26	13										
(78) 伝染性紅斑					2	0.22	1	0.20			2	0.50	5	0.12	0										
(79) 突発性発しん	5	0.56	2	0.22	1	0.11	1	0.20	4	0.67	1	0.25	14	0.33	1	2	2.00	3	0.38						
(80) 百日咳															-1										
(81) 風しん															0										
(82) ヘルパンギーナ	12	1.33			1	0.11	2	0.40			24	6.00	39	0.93	-18										
(83) 麻しん(成人を除く)															0										
(84) 流行性耳下腺炎			1	0.11			3	0.60	4	0.67	1	0.25	9	0.21	1										
(86) 急性出血性結膜炎															0										
(87) 流行性角結膜炎	1	0.50					4	4.00					5	0.45	5										
(95) マイコプラズマ肺炎					3	3.00					3	3.00	6	1.00	2										

は警報 注意報 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:結核については4月1日からの累計で、届出数は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 八戸2人、上十三1人、青森市1人 (19年計:126人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 八戸1人 (19年計:35人)
- (71) バンコマイシン耐性腸球菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人 (19年計:2人)

感染症の窓 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

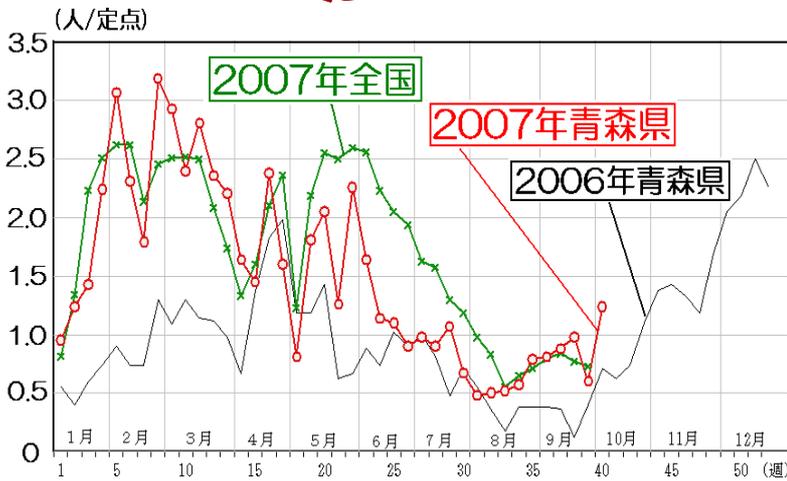


図1 全国及び青森県における届出数推移

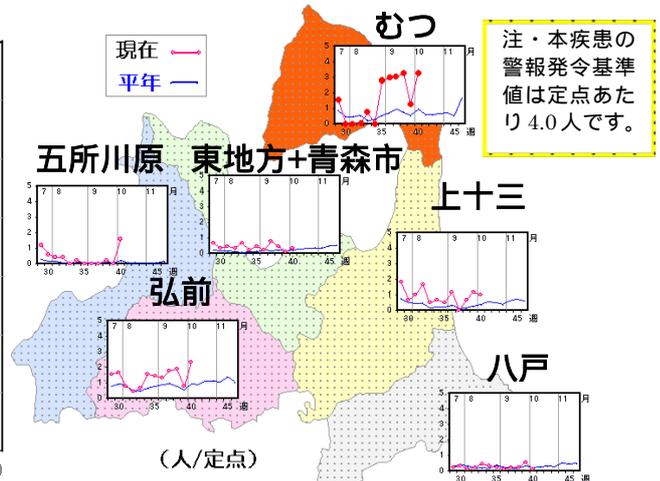


図2 保健所管内別届出数推移(28-40週まで)

本疾患は、発熱、咽頭痛等を主症状とする細菌による感染症です。その他の症状としては、口の中に小さな点状の出血、または舌がイチゴの表面のようになる**莓舌**が現れることもあり、全身症状としては肺炎、敗血症などを呈することもあります。例年、冬及び春から初夏に流行しますが(図1)、現在、むつ保健所管内において、増加傾向にある(当該週3.25人/定点 先週1.25人/定点)ことから、他の保健所管内においても、今後の動向に注意が必要です(図2)。感染は、保菌者の唾液や鼻汁の飛沫又は皮膚や傷口への接触などによります。予防法としては、**外出後のうがい、手洗い**をすることが大切です。